

< 記入例 >

1 ページ目が記入例で、2 ページ目が提出用です。

本人記入不可

## 実地の経験及び技術に関する証明書

免許取得方法に応じて、最低在職年数を超える勤務期間の確認に必要なため、正確に記入すること。

本 籍 地 ( 都道府県名のみ ) 県  
現 住 所 熊本市中央区水前寺6丁目18-1  
氏 名 免許 華子  
昭和 平成 年 月 日生

生年月日は  
和暦で記入  
すること。

期 間	勤務した事業所等の名称	職 名	業 務 内 容
平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	社会福祉事務所	社会福祉士	具体的に記入すること

技 術 に 関 す る  
証 明 事 項

下記 注2 のとおり、「技術が優秀である」か「技術が優秀でない」かのいずれかを記入してください。

休 職 又 は 退 職 等 の  
期 間 又 は 時 期 及 び  
そ の 理 由

休職又は退職の事実がない場合は、「なし」と記入すること

上記のとおり副申する。  
平成 年 月 日

所属長 ( 学校長・園長 ) の副申

社会福祉事務所  
所長

公印  
印

上記のとおり証明する。  
平成 年 月 日

所轄の市町村教育委員会の証明 ( 熊本県立学校は空欄、  
私立学校は理事長または設置者 )

社団法人  
理事長

公印  
印

注 1 業務内容は具体的に記入すること。

2 技術に関する証明事項欄は、技術が優秀である又は優秀でない旨記入すること。

3 休職又は退職の事実がない者についてはその旨記入すること。

4 私立学校の教職員は、学校法人にあっては理事長、それ以外の場合にあっては設置者から証明を受けること。

注意事項をよく読んで記入すること

証明書の内容について訂正する場合は、証明欄に押印された公印 ( 例 「 市教育委員会 」 ) で訂正印を押印すること

学校での勤務が無い場合の副申者・証明者については、事前に県教育委員会へ相談すること

<h2 style="margin: 0;">実地の経験及び技術に関する証明書</h2> <p style="margin: 0;">本 籍 地（都道府県名のみ）</p> <p style="margin: 0;">現 住 所</p> <p style="margin: 0;">氏 名</p> <p style="margin: 0; text-align: right;">年 月 日生</p>			
期 間	勤務した事業所等の名称	職 名	業 務 内 容
技 術 に 関 す る 証 明 事 項			
休 職 又 は 退 職 等 の 期 間 又 は 時 期 及 び そ の 理 由			
上記のとおり副申する。  年 月 日  所属長 職 氏名 <span style="float: right;">印</span>			
上記のとおり証明する。  年 月 日  所 轄 庁（市町村教育委員会）又は理事長 <span style="float: right;">印</span>			

- 注 1 業務内容は具体的に記入すること。
- 2 技術に関する証明事項欄は、技術が優秀である又は優秀でない旨記入すること。
- 3 休職又は退職の事実がない者についてはその旨記入すること。
- 4 私立学校の教職員は、学校法人にあっては理事長、それ以外の場合にあっては設置者から証明を受けること。